

ネオマ[®]フォーム

建築・産業資材総合カタログ

AsahiKASEI

旭化成建材

2025年4月版

NEOMA[®]FOAM

JIS A 9521フェノールフォーム断熱材1種2号CⅡ

JIS A 9511フェノールフォーム保温板1種2号C

0.020

トップクラス^{*}の断熱性能。

※JIS A 9521 建築用断熱材に定められている断熱材での比較

数々の実績が物語る、ネオマフォームの高性能と



みんなの森ぎふメディアコスモス(屋根・耐火野地板)



セキスイハイムミュージアム(外壁・耐火)



たばこと塩の博物館(天井・不燃)



リニア・鉄道館(外壁・耐火)

信頼感。



歌舞伎座(外壁・カーテンウォール下地・不燃)



熊野古道センター(屋根・耐火野地板)



福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館(外壁・耐火)



東大寺総合文化センター(内装・不燃)



イオンモール沖縄 ライカム(屋根・耐火野地板)



レッドウッド藤井寺ディストリビューションセンター(外壁・耐火)



IKEA福岡新宮(外壁・耐火)



エフピコ福山配送センター(外壁・耐火)



センコー京葉PDセンター(外壁・耐火)



センコーさいたまPDセンター(外壁・耐火)



センコーさいたまPDセンター(外壁・耐火)

0.020

トップクラス*の断熱性能。 λ=0.020の断熱材『ネオマフォーム』

0.020とはネオマフォームの熱伝導率[W/(m・K)]。

熱伝導率は、値が小さいほど熱を伝えにくく、断熱性が高いことを表します。

ネオマフォームは、私たち旭化成の技術と思いが込められた断熱材。

素材は熱に強いフェノール樹脂で、数ある断熱材の中でもトップクラス*の性能を誇ります。



■ネオマフォームの4つの基本性能

高い断熱性能

ネオマフォームは、トップクラス*の断熱性能。薄くても高いレベルの断熱性を発揮します。

長期断熱性能

旭化成独自の技術で、長期にわたって高い断熱性能を維持します。



耐燃焼性能

素材は熱に強く燃えにくいフェノール樹脂。火に当たると炭化し、燃焼時の発生ガスも少量です。

環境性能

環境にやさしいノンフロン発泡。リサイクルにも取り組んでいます。

C O N T E N T S

ネオマフォームの採用例	01	RC造施工例	13
ネオマフォームの性能／目次	04	断熱改修施工例	14
ネオマフォームの4つの基本性能	05	産業資材使用例	15
製品概要	09	基本物性比較・主要性能・防耐火構造認定(S造)・材料認定	17
S造施工例	11		

※JIS A 9521 建築用断熱材に定められている断熱材での比較

ネオマフォームの4つの基本性能

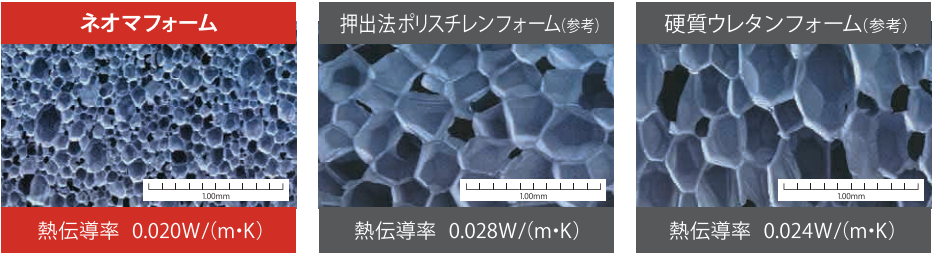
1 高い断熱性能

熱伝導率(λ)は0.020[W/(m・K)]。

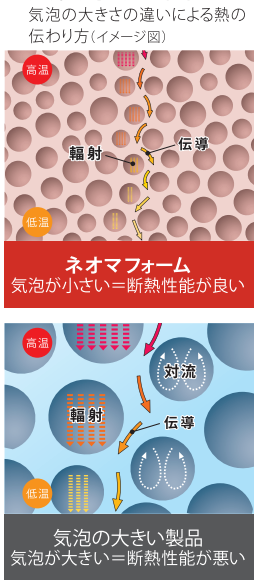
ネオマフォームの気泡は100ミクロン未満という微細な気泡構造。断熱性能の高さは、この細かさにあります。

熱伝導率(λ)：熱の伝わりやすさの値であり、値が小さいほど熱を伝えにくい。
(1m厚の材料をはさんで両側に1℃の温度差があるとき、1秒間に通過する熱量)

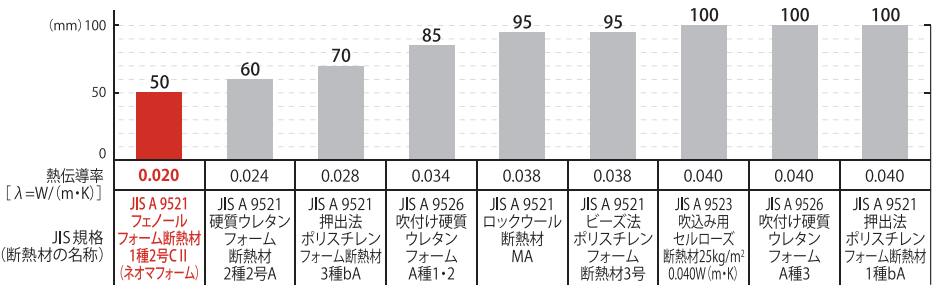
■気泡構造写真



■気泡の違いによる熱伝導概念図



■同断熱性能の場合の厚さ比較[熱抵抗2.5 (m²・K) /W]



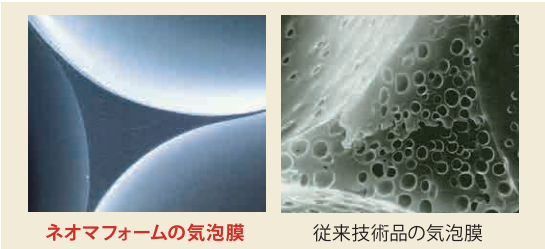
※断熱材厚さは熱抵抗に各断熱材の熱伝導率を乗じた厚さを記載。

2 長期断熱性能

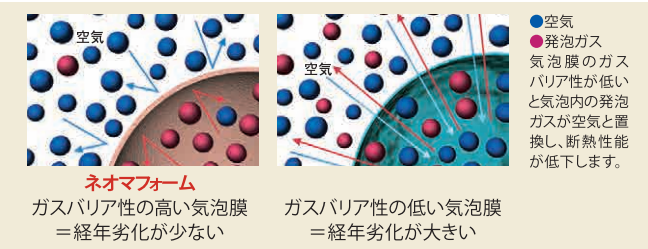
25年平均熱伝導率0.020W/(m・K)。

住宅・建物の高断熱化、長寿命化を促す社会背景にこたえるべく、ネオマフォームは、長期性能試験を実施。

■独立気泡膜写真(独立気泡率 94～95%) (当社撮影)



■空気と発泡ガスの置換イメージ図 (製造後1000日以上経過時を想定)



■経過期間(年)における平均熱伝導率の推定結果 (厚さ50mmの製品の場合)

経過期間(年)	平均熱伝導率[W/(m・K)]
1	0.01908
5	0.01956
10	0.01989
15	0.02012
20	0.02031
25	0.02047

備考 1)推定結果の数値を有効数字4桁で表示するが、4桁目は参考値である。
2)平均熱伝導率は、平均熱抵抗の推定結果と厚さ50mmから算出。

(一財)建材試験センターにて「発泡プラスチック系断熱材の熱抵抗の長期変化促進試験法(JIS A 1486)」に基づくフェノールフォーム断熱材(ネオマフォーム)の25年間の平均熱伝導率が2018年に報告されました。



3 耐燃焼性能・耐熱性能

フェノールだから燃えにくい。

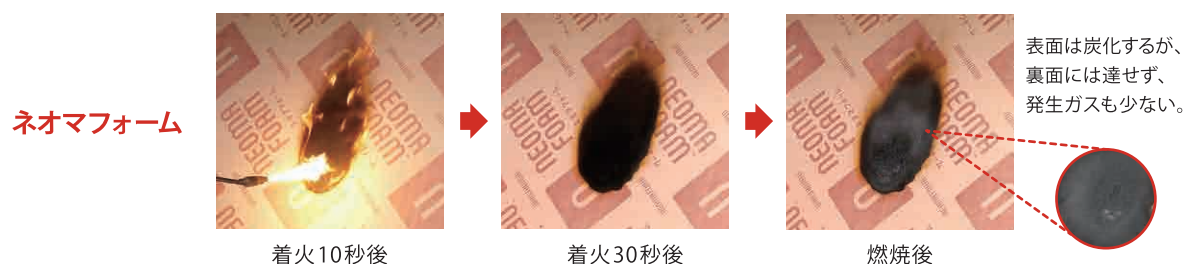
防耐火構造認定・材料認定は、P17をご参照ください。

ネオマフォームは、熱に強く燃えにくい。これは主原料であるフェノール樹脂の特性です。

フォームは、炎を当てても炭化するだけで、燃え上がることはなく、有毒ガスの発生も少なく安心です。

また、燃えにくい特性を活かし、さまざまな防耐火構造認定・材料認定を取得しています。※詳細は、P17をご参照ください。

■燃焼性試験（当社にて厚さ25mmのネオマフォームに1分間トーチバーナーで放射実験を実施）



■火気作業試験（当社にて厚さ25mmのネオマフォームに現場で想定される火気作業を再現して実施）



4 環境性能

地球環境に配慮した断熱材。

ネオマフォームは、発売当初より、ノンフロン発泡で生産。工場内や出荷後のリサイクルにも取り組んでいます。

地球環境に配慮したノンフロン発泡

今では一般的になりましたが、ネオマフォームは、発泡ガスとしては当たり前のようについでいたフロンガスや代替フロンを業界で初めて一切使用しない、高性能断熱材として開発されました。



リサイクルへの取り組み

熱硬化性樹脂であるフェノール樹脂のリサイクルは難しいとされていましたが、旭化成では独自の技術による、マテリアルリサイクルを実施しています。

グリーン購入法適合商品

製品やサービスを購入する際、環境への負荷ができるだけ少ない商品を優先して選ぶことを、国などの機関が義務づけた法律が定められ、断熱材もその対象品目に指定されています。ネオマフォームはその基準に適合しています。

グリーン購入法
適合商品

アーキテクトの思いに 高いパフォーマンスで応える ネオマフォーム

『ネオマフォーム』は、かつてない性能を持つ断熱材。
建築物のディテールを損なわない薄さや施工性、
コストパフォーマンスなども兼ね備え、
設計・施工に関わる皆様の思いにしっかりと応えます。

高性能でより薄く、燃えにくい安心の断熱材。
さまざまな用途に応じて高いパフォーマンスを実現！



S造

ネオマ耐火スパンウォール®

ネオマ®フォームFS

ネオマ®フォームF

ネオマ®フォーム



RC造

ネオマ®フォームFS

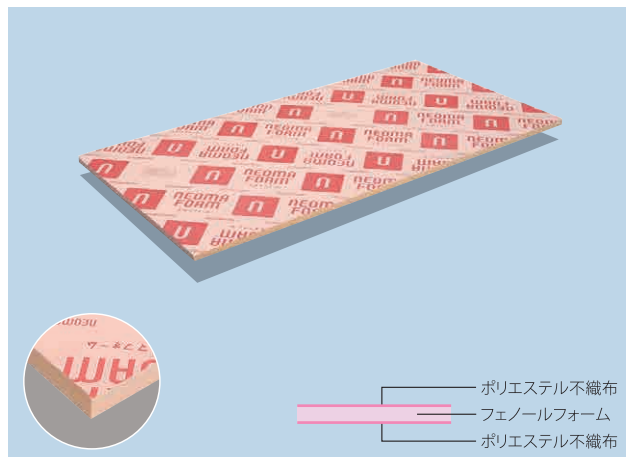
ネオマ断熱ボード®

ネオマ®フォーム

※ネオマフォームDH、ネオマフォームUFは2025年3月をもって販売終了となりました。

高性能フェノールフォーム

ネオマフォーム



ポリエステル不織布
フェノールフォーム
ポリエステル不織布

高断熱

JIS A 9521フェノールフォーム断熱材1種2号CII

JIS A 9511フェノールフォーム保温板1種2号C

フォーム素材	面材	密度	熱伝導率
フェノールフォーム	ポリエステル不織布	27kg/m ³	0.020[W/(m・K)]

●製品規格

○:常備品 ○:受注生産品

厚さ (mm)	品番	幅×長さ(mm) 910×1820	品番	幅×長さ(mm) 910×3030	品番	幅×長さ(mm) 1000×2000	熱抵抗 [(m ² ・K)/W]
25	25-R6	○	25-R0	○	—	—	1.3
30	30-R6	○	30-R0	○	—	—	1.5
35	35-R6	○	35-R0	○	35-RM	○	1.8
40	40-R6	○	40-R0	○	40-RM	○	2.0
45	45-R6	○	45-R0	○	45-RM	○	2.3
50	50-R6	○	50-R0	○	50-RM	○	2.5
60	60-R6	○	60-R0	○	—	—	3.0
66	66-R6	○	66-R0	○	—	—	3.3
80	80-R6	○	—	—	—	—	4.0
90	90-R6	○	—	—	—	—	4.5
100	100-R6	○	100-R0	○	—	—	5.0

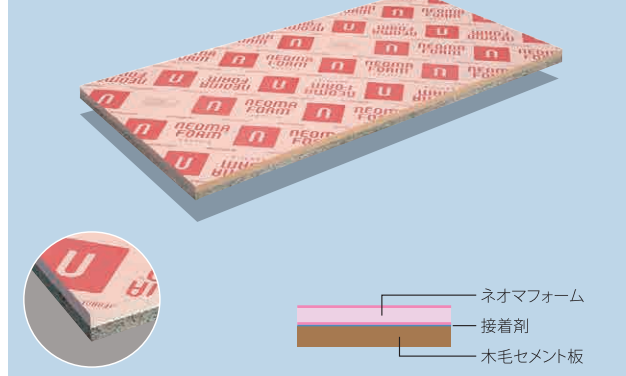
「JIS A 9521:2022 建築用断熱材」による厚さ、幅及び長さの寸法許容差(単位:mm) [5.2寸法表13—厚さ、表14—幅及び長さより掲載]

■厚さ 5以上100以下およびII種の場合:±2.0 ■幅 20以上1000未満の場合:±4, 1000以上3000以下の場合:±5
■長さ 150以上1000未満の場合:±4, 1000以上6000以下の場合:±5

木毛セメント板複合高性能フェノールフォーム

ネオマ耐火スパンウォール®

木毛セメント板複合品



ネオマフォーム
接着剤
木毛セメント板

耐火

壁30分耐火構造 FP030NE-0183-5

壁60分耐火構造 FP060NE-0184-5

EI EI認証対象製品

構 成	
断熱材 ネオマフォーム JIS A 9521フェノールフォーム断熱材1種2号CII JIS A 9511フェノールフォーム保温板1種2号C	複合材料 木毛セメント板

●製品規格

受注生産品

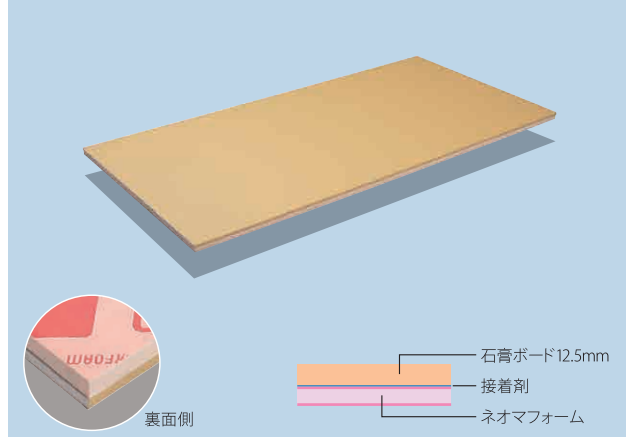
耐火性能	品番	厚さ(mm) ネオマフォーム	総厚	幅×長さ(mm)	重量 (kg/m ²)	EI認証 対象	熱抵抗※1 [(m ² ・K)/W]
30分 耐火構造	20M-25	25	45	910×1820	16.9	●	1.3
	20M-30	30	50		17.0	●	1.5
	20M-35	35	55		17.1	●	1.8
	20M-50	50	70		17.5	●	2.5
60分 耐火構造	25M-25	25	50	910×1820	25.9	●	1.3
	25M-30	30	55		26.0	●	1.5
	25M-35	35	60		26.1	●	1.8
	25M-50	50	75		26.5	●	2.5

※1 熱抵抗はネオマフォーム単体(複合材料の断熱性能を含まない)の断熱性としています。
複合材料を含めた壁の熱貫流率は「ネオマフォーム鉄骨造向けカタログ」を参照ください。

普通石膏ボード12.5mm複合高性能フェノールフォーム

ネオマフォームFS

石膏ボード12.5mm複合品



石膏ボード12.5mm
接着剤
ネオマフォーム

耐火・準耐火・防火・不燃

EI EI認証対象製品

壁30分耐火構造 FP030NE-0270-1 (FS-25限定)

壁30分耐火構造 FP030NE-0174 (FS+強化石膏ボード)

壁30分防火構造 PC030NE-0121-5

壁45分準耐火構造 QF045NE-0075

不燃材料 NM-3558

構 成	
断熱材 ネオマフォーム JIS A 9521フェノールフォーム断熱材1種2号CII JIS A 9511フェノールフォーム保温板1種2号C	複合材料 普通石膏ボード12.5mm

●製品規格

受注生産品

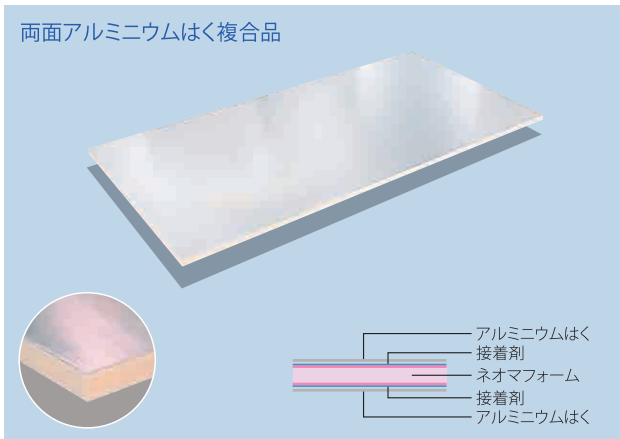
品番	厚さ(mm) ネオマフォーム	総厚	幅×長さ(mm)	重量 (kg/m ²)	EI認証 対象	熱抵抗※1 [(m ² ・K)/W]
FS-25	25	37.5	910×1820	9.4	●	1.3
FS-30	30	42.5		9.5	●	1.5
FS-35	35	47.5		9.6	●	1.8
FS-50	50	62.5		10.0	●	2.5

※1 熱抵抗はネオマフォーム単体(複合材料の断熱性能を含まない)の断熱性としています。
複合材料を含めた壁の熱貫流率は「ネオマフォーム鉄骨造向けカタログ」を参照ください。

両面アルミニウムはく複合高性能フェノールフォーム

ネオマフォームF

両面アルミニウムはく複合品



不燃

不燃材料 NM-3815

構 成	
断熱材	複合材料
ネオマフォーム JIS A 9521フェノールフォーム断熱材1種2号CII JIS A 9511フェノールフォーム保温板1種2号C	両面アルミニウムはく

●製品規格

受注生産品

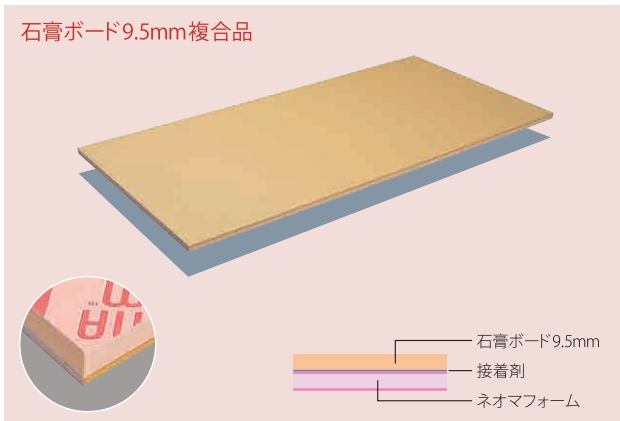
品番	厚さ(mm)	幅×長さ(mm)	熱抵抗※1[(m ² ・K)/W]
25-FR	25	910×1820	1.3
30-FR	30		1.5
35-FR	35		1.8

※1 熱抵抗はネオマフォーム単体(複合材料の断熱性能を含まない)の断熱性をFの断熱性としています。

普通石膏ボード9.5mm複合高性能フェノールフォーム

ネオマ断熱ボード®

石膏ボード9.5mm複合品



改修・準不燃

準不燃材料 QM-0825

EI EI認証対象製品

構 成	
断熱材	複合材料
ネオマフォーム JIS A 9521フェノールフォーム断熱材1種2号CII JIS A 9511フェノールフォーム保温板1種2号C	普通石膏ボード9.5mm

●製品規格

受注生産品

品番	厚さ(mm)		幅×長さ(mm)	重量(kg/m ²)	EI認証対象	熱抵抗※1[(m ² ・K)/W]
	ネオマフォーム	総厚				
RS-25	25	34.5	910×1820	7.5	●	1.3
RS-30	30	39.5		7.6	●	1.5

※1 熱抵抗はネオマフォーム単体(複合材料の断熱性能を含まない)の断熱性としています。
省エネ計算を行う際には、石膏ボードの熱抵抗0.04[(m²・K)/W]を加算することができます。
(石膏ボードの熱伝導率=0.22W/(m・K)前提)

■ネオマフォーム各製品のホルムアルデヒドの放散について

ネオマフォーム各製品は、いずれも内装仕上げの使用面積制限なくお使いいただけます。

構成材料	概要	対象商品
ネオマフォーム	JIS A 9521フェノールフォーム断熱材1種2号CII☆☆☆☆ JIS A 9511フェノールフォーム保温板1種2号CF☆☆☆☆	全商品
木毛セメント板	規制物質対象外	ネオマ耐火スパンウォール
石膏ボード	規制物質対象外	ネオマフォームFS、ネオマ断熱ボード
アルミニウムはく	規制物質対象外	ネオマフォームF
接着剤	非ホルムアルデヒド系(規制物質対象外)	ネオマ耐火スパンウォール、 ネオマフォームFS、ネオマ断熱ボード、ネオマフォームF

■優良断熱材(EI)認証制度について

「優良断熱材認証制度」は一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会が優れた品質管理のもとに安定した断熱性能を有する優良断熱材(EI)を認証する制度です。

省エネ基準適合義務化の断熱性能の確認において、JISと並ぶ第三者認証制度として利用できます。

認証の対象として熱抵抗1.1[(m²・K)/W]以上の要件があります。

(各製品規格の「EI認証対象」欄の●の規格が対象規格となります。)



※ネオマフォームDH、ネオマフォームUFは2025年3月をもって販売終了となりました。

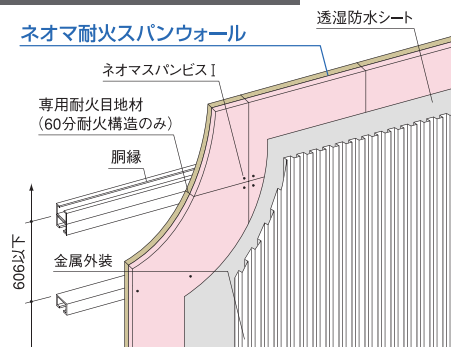
外壁

ネオマ耐火スパンウォール®

耐火・金属外装

壁30分耐火構造 FP030NE-0183-5

壁60分耐火構造 FP060NE-0184-5



取付け

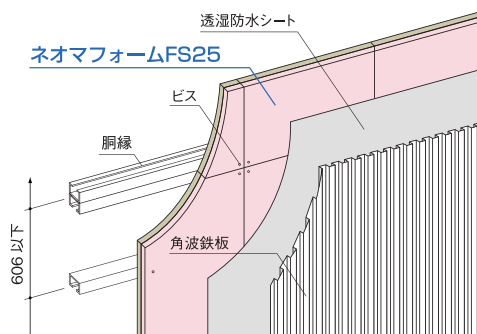


内部仕上り

ネオマフォームFS25

壁30分耐火構造 FP030NE-0270-1

不燃材料 NM-3558



取付け

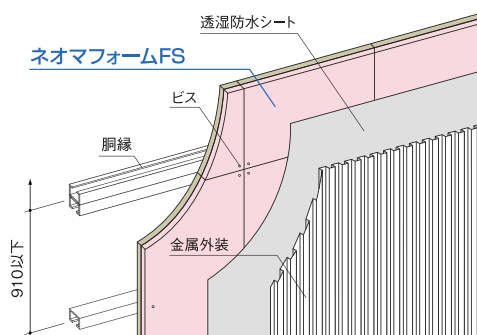


内部仕上り(グレー石膏ボード仕様例)

ネオマフォームFS

壁30分防火構造 PC030NE-0121-5

不燃材料 NM-3558



防火・不燃・金属外装

準耐火建築物(口準耐2)対応



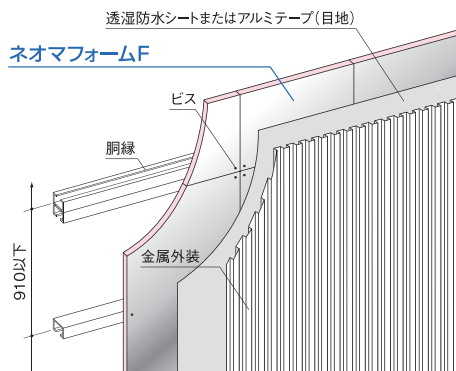
取付け



内部仕上り

ネオマフォーム[®]F

不燃材料 NM-3815



不燃・金属外装



外装施工



内部仕上り

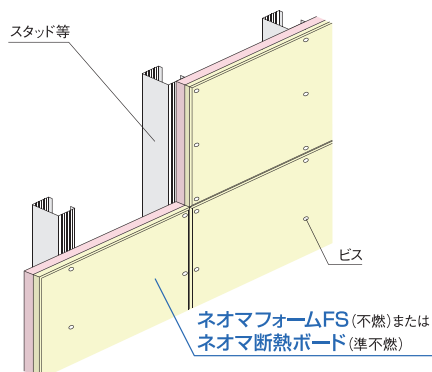
間仕切り・天井

ネオマフォーム[®]FS

不燃

ネオマ断熱ボード[®]

準不燃



施工

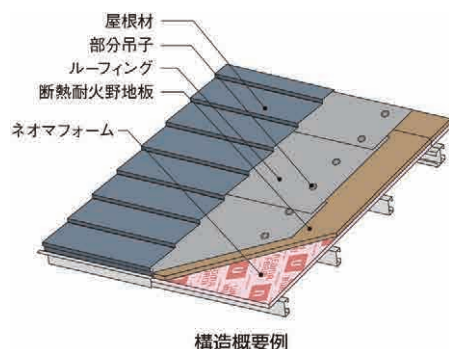


施工

屋根

木質系セメント板複合品

ネオマフォーム ネオマフォームF



耐火・断熱野地板



取付け

※本複合品は、弊社製品ではありません。詳しくは、お問い合わせください。



ネオマフォームF仕様

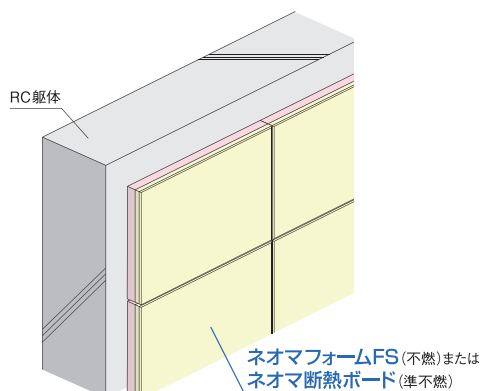
RC造 内断熱

ネオマフォームFS

不燃

ネオマ断熱ボード

準不燃



外壁内断熱

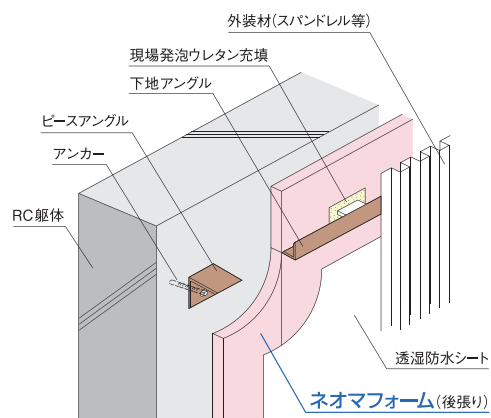


断熱補強

外断熱

ネオマフォーム

外断熱・乾式・通気



下地設置



外装取付け

ピースアングル取付け後、ネオマフォーム張付け、通しアングル、外装材を設置する在来工法です。アンカー強度、下地のメンバー等は外装メーカー様にてご設計ください。

※ネオマフォームDH、ネオマフォームUFは2025年3月をもって販売終了となりました。

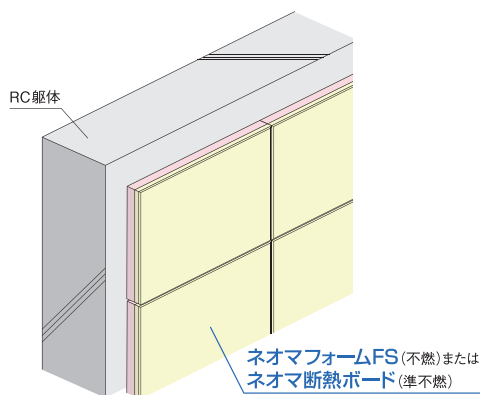
RC造 内断熱

ネオマフォームFS

不燃

ネオマ断熱ボード

準不燃



外壁内断熱



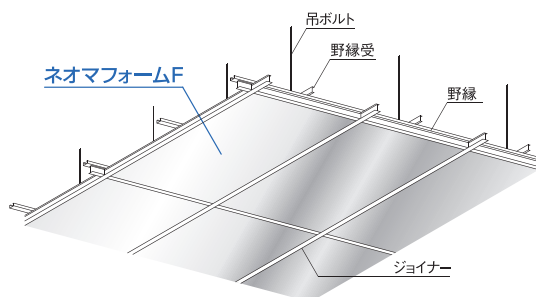
断熱補強

天井

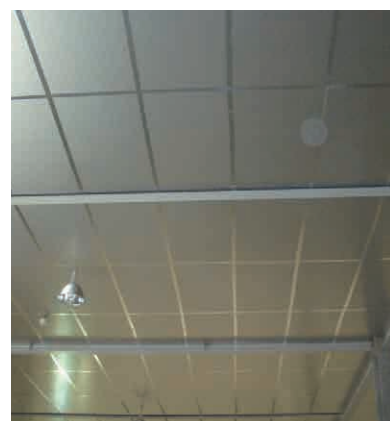
ネオマフォームF

不燃材料 NM-3815

不燃・あらかし仕上げ



施工



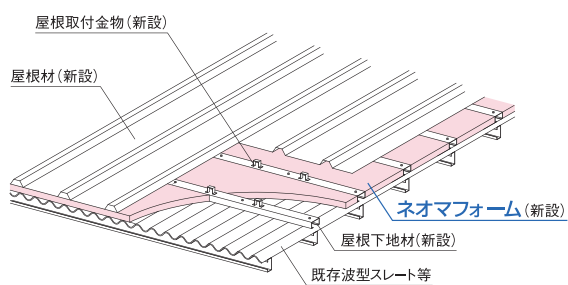
仕上り

▲天井内部の結露を防止するため、必要に応じて、天井面での防湿・天井内部の換気等に配慮してください。

屋根

ネオマフォーム

屋根充填



充填



充填

産業資材使用例

ネオマフォームはその高い断熱性能に加え、耐熱性や耐燃焼性、軽量性などの特徴を生かし、建築系用途のみならず航空機、自動車、プラント設備、機械設備などの様々な用途に採用されています。

プレハブ・ユニットハウス



不燃・耐火断熱パネル



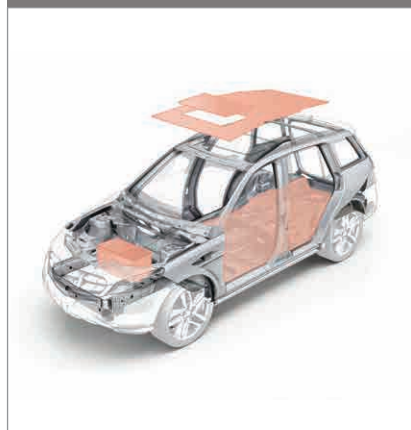
断熱・防火ドア



プラント保温・保冷



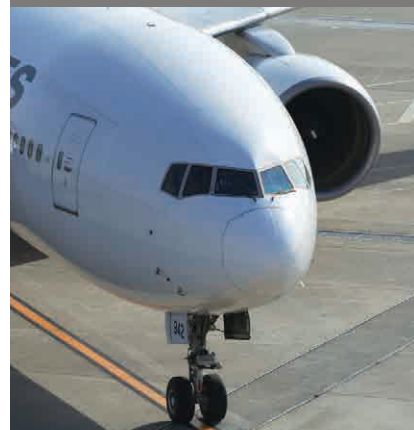
自動車



鉄道車両



航空機



超低温



電気製品



保冷車



保冷ボックス



基本物性比較

製品名および断熱材の種類	ネオマフォーム	JIS A 9521 フェノールフォーム 断熱材1種2号CII	JIS A 9521 押出法ポリスチレン フォーム断熱材3種bA	JIS A 9521 ビーズ法ポリスチレン フォーム断熱材3号	JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム 断熱材2種2号A
密度 (kg/m³)	27以上	25以上	25以上	20以上	25以上
熱伝導率 [W/(m・K)]	0.020以下	0.020以下	0.028以下	0.038以下	0.024以下
曲げ強さ (N/cm²)	40以上	15以上	25以上	18以上	15以上
圧縮強さ (N/cm²)	15以上	10以上	20以上	8以上	8以上
吸水量 (g/100cm²)	1.7以下	5.0以下	0.01以下	1.0以下	3.0以下
透湿係数 25mm厚 ng/(m²・s・Pa)	38以下	60以下	145以下(スキン層なし)	250以下	40以下

※ ネオマフォームの物性値は、測定データを基にした一般的な値。但し、熱伝導率は、製品規格値。
 <試験方法> ■密度、曲げ強さ、圧縮強さ、吸水量、透湿係数: JIS A 9521、JIS A 9511 ■熱伝導率: JIS A 1412
 ネオマフォーム以外の物性値は、「JIS A 9521建築用断熱材」(2022)によります。

主要性能

項 目	試験方法	試験結果
耐候性	JIS D 0205準拠 サンシャインウェザーメーター照射1000時間 (屋外曝露約2年に相当)	変 色 : 茶褐色に変色 欠損および体積減 : な し
有毒性	OECDガイドライン準拠	急性経口毒性 : な し 急性経皮毒性 : な し 急性皮膚刺激性 : な し 皮膚感作性(アレルギー性) : な し 急性眼刺激性 : な し 変異原性 : な し 急性吸入毒性 : な し
廃棄時有毒性	溶出試験 (昭和48年環境庁告示第13号に準拠)	水銀およびアルキル水銀 その他の水銀 : 不検出 カドミウムおよびその化合物 : 不検出 鉛およびその化合物 : 不検出 六価クロム化合物、ひ素およびその化合物 : 不検出 シアン化合物、ポリ塩化ビフェニル(PCB) : 不検出 トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン : 不検出 メチルジメトン、メチルパラチオン : 不検出 パラチオン、EPN : 不検出
耐薬品性	ASTM D 543準拠	ガソリン : 収縮・膨潤の著しい変化を認めない* ベンゼン : 収縮・膨潤の著しい変化を認めない*

*測定結果から、質量変化率の有効数字を2桁(3桁目を四捨五入)とし、±100%以内。

防耐火構造認定(S造)

区分	認定番号	商品名	外装材	内装仕様	備 考
耐火30分	FP030NE-0183-5	ネオマ耐火スパンウォール	スパンドレル、角波鉄板	内装制限なし	—
耐火60分	FP060NE-0184-5	ネオマ耐火スパンウォール	スパンドレル、角波鉄板	内装制限なし	—
耐火30分	FP030NE-0270-1	ネオマフォームFS	角波鉄板	内装制限なし	FS-25限定
耐火30分	FP030NE-0174	ネオマフォームFS	スパンドレル、角波鉄板	内装制限なし	FS+強化石膏ボード
防火30分	PC030NE-0121-5	ネオマフォームFS	スパンドレル、角波鉄板	内装制限なし	—
準耐火45分	QF045NE-0075	ネオマフォームFS	スパンドレル、角波鉄板	石膏ボード2層張り	—

※認定のご使用につきましては、ご使用者様に認定内容を十分で確認の上、遵守いただきますようお願いいたします。また、認定内容には、弊社断熱材以外の建築資材が用いられていますが、その使用にあたりましては、当該建築資材メーカーの仕様に拠っていただくようお願いいたします。

防耐火認定書の構造内容に関しては、当該認定における性能を確保する目的で構成されたものです。実際の建物の設計施工にあたっては認定の要件に加え、別途、設計施工上の配慮が必要になる場合がありますのでご注意ください。

※木造の認定に関しては、ネオマフォーム住宅用カタログをご参照ください。

材料認定

区分	認定番号	商品名	概 要
不燃材料	NM-3815	ネオマフォームF	両面アルミニウムはく張りネオマフォーム
不燃材料	NM-3558	ネオマフォームFS	石膏ボード12.5mm複合ネオマフォーム
準不燃材料	QM-0825	ネオマ断熱ボード	石膏ボード 9.5mm複合ネオマフォーム

※詳細については、弊社ホームページにて認定書をご参照ください。

ネオマフォームについて、よくあるご質問

Q.ネオマフォームによりビスが錆びるなどの影響はありませんか？

高温、高湿で常時水分に接するような特殊な条件を除く、一般的な建築条件下では、ビスと接するネオマフォームの使用は問題ありません。高温高湿下で、ビスを合板、ネオマフォームそれぞれに接触させた比較促進試験(当社測定)では、ネオマフォームに接したビスは、合板に接したビスと比較して、錆びにくい結果となりました。

Q.ネオマフォームは変色するのですか？

紫外線があたると表層のみ黄色っぽく変色しますが、断熱性能や強度などの性能には支障をきたしませんので、安心してお使いください。但し、長期間強い紫外線を受け続けると多くのプラスチックと同様に劣化するため、運搬・保管時はシート掛けを行い、施工後も速やかに仕上げを行ってください。

Q.ネオマフォームは水を吸いませんか？

吸水量は1.7g/100cm²以下(JIS A 9511 試験方法)で、JIS規格値(5g/100cm²)を上回る性能です。常時、水分に接するような使い方をしない、一般的な使用方法(基礎は室内側施工)であれば問題のないレベルです。安心してお使いください。

⚠ ネオマフォーム取扱い注意事項

①使用環境に関する注意

- 常時、水分に接するような使用(基礎の外側・土中・水蒸気が多量に発生する環境等)は避けてください。
- 常時、高温(100℃以上)で使用した場合は、熱伝導率等の物性の低下をきたします。
- ネオマフォーム及びネオマフォーム複合品はRC打込みには対応しておりません。後張り工法を採用ください。
- RC外断熱への打込みは避けてください。

②保管・運搬時に関する注意

- 保管には直射日光のあたる場所・水分の接する場所は避けてください。
- 保管は養生シート等で覆い、ロープ掛け等の飛散防止処置を行ってください。
- 鋭角な器物との衝突や角当ては、損傷の原因になりますので避けてください。

③施工時・作業時の注意

- 局部荷重や衝撃により割れることがありますので、施工時には下地の無い箇所には乗らないようにしてください。
- ネオマフォーム及びネオマフォーム複合品は直床仕様での施工には適用できません。
- 強風下での施工は風にあおられやすいので行わないでください。

④粉塵注意

- 切断時には粉塵が発生しますので、切断器具には集塵装置を設けてください。また、作業者は正規の作業服を着用の上、防塵マスク・防護メガネ等の使用をお願いします。
- 狭い場所で多量の切断作業を行う場合は、十分な外気の導入を行うとともに粉塵量を低下させてください。
- ネオマフォームの粉塵には健康上の有害性は認められていませんが、目に入った場合はこすらないで流水で洗浄してください。また、吸引した場合は、うがい等を行い粉塵を洗い出してください。

⑤火気注意

- ネオマフォームの基材は炎をあてると炭化する性質があります。輸送・保管・施工にあたっては、火気にご注意ください。特に、ネオマフォームの切断等で

生じた粉塵には火が移りやすくなりますので、ご注意ください。(基材の酸素指数:28以上)

- 燃やした際に、アンモニア臭が発生しますが、人体に有害なレベルの量ではありません。

⑥変色注意

- 各製品は紫外線により変色する恐れがありますので、室内側の使用であってもフォーム部分および不織布面が露出する使用は避けてください。保管中や施工中も含め、養生するなど配慮してください。なお、変色による著しい性能低下は認められていません。

⑦廃棄時の注意

- 廃棄する際は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、適正に処理してください。
- 処理にあたり、ネオマフォームを圧縮・粉砕することは避けてください。

⑧断熱防水使用時の注意

- 各防水メーカーの仕様に従ってください。
- 非歩行屋根限定です。
- 折板屋根、デッキ上に設置する場合は、踏み抜け対策が必要です。
- 吸水による断熱性能低下、膨れが生じる可能性がある為、工事中等に雨水が浸入しないように措置してください。
- 下地を十分乾燥させるとともに、コンクリート下地の場合は、脱気筒または、脱気盤を必ず設置してください。

⑨天井断熱使用時の注意

- 天井内部の結露を防止する為、必要に応じて、天井面での防湿・天井内部の換気等に配慮してください。

⑩その他

- ネオマフォームは白アリ等の昆虫および動物によって損傷を受けることがありますが、栄養源や餌にはなりません。

上記注意事項は、通常の取扱いを対象にしたものです。特殊な取扱いをされる場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用ください。また、記載内容は現時点の資料・データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

【免責事項】

- ①本カタログに記載した取扱い注意事項が行われず発生した不具合
- ②設計者・施工業者等使用者の指示した仕様・施工方法に起因する不具合
- ③設計者・施工業者等使用者から支給された材料・部品に起因する不具合
- ④施工業者による施工・取扱いに起因する不具合
- ⑤建物の構造・下地の変形・老朽化や外部からの衝突等、弊社の製品以外の外的要因により発生した不具合

- ⑥使用者もしくは第三者の故意または過失による不具合
- ⑦引き渡し後、構造・性能・仕様等の改変を行い、これに起因する不具合
- ⑧瑕疵を発見後すみやかに届けがされなかった場合
- ⑨開発・製造・販売時に通常予想される環境等の条件下以外における使用・保管・輸送等に起因する不具合
- ⑩地震・台風等の天災・火災等の特殊要因が原因により発生した不具合

【ネオマフォームの海外でのご使用に関して】

ネオマフォームは、日本国内での使用を前提として設計・販売しています。ネオマフォームを日本国外で使用する場合、製品仕様が使用国の法令、規格に適合しない可能性があります。

【本カタログと、そのご使用にあたって】

- ①本カタログはネオマフォームの設計・施工および管理に必要な業務のカタログとして編集されています。
- ②ネオマフォームを用いた建築物の設計・施工ならびにその管理を行う場合は、本カタログおよび建築基準法・関連法規・関連基準等を厳守して、正しい設計・施工と維持管理にお努めいただきますようお願いいたします。
- ③⚠:このマークは設計上および安全上注意していただきたい箇所に表示してあります。
- ④本カタログに掲載の商品は、設計・施工に関する専門の知識・技術が必要であり、所定の教育を受けた技術者・技能者による設計・施工を原則としております。ご採用(使用)にあたっては、これら専門業者の方にご依頼願います。
- ⑤仕様・外観は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- ⑥印刷物と実物とは多少外観が異なることがありますので、ご了承ください。

AsahiKASEI

旭化成建材

- このカタログは「ネオマフォーム建築・産資総合カタログ」です。
- 記載内容の仕様・物性・品質等については、予告なく変更させていただくことがあります。
- ご使用にあたっては、関連法規および当社が提供する技術資料に従って適切に設計・施工してください。
- このカタログは印刷のため、実際の色柄とは多少異なる場合があります。
- このカタログの内容についてのお問い合わせは、弊社に直接お尋ねください。

旭化成建材株式会社 [https://www.asahikasei-kenzai.com]

本 社	〒101-8101 東京都千代田区神田神保町1-105 (神保町三井ビルディング)	TEL.03-3296-3531	FAX.03-3296-3535
札 幌	〒060-0002 札幌市中央区北二条西 1-1 (マルイト札幌ビル)	TEL.011-261-5443	FAX.011-261-0975
仙 台	〒980-0811 仙台市青葉区一番町 3-1-1 (仙台ファーストタワー)	TEL.022-223-8171	FAX.022-211-9526
名古屋	〒460-0003 名古屋市中区錦 1-11-11 (名古屋インターシティ)	TEL.052-212-2251	FAX.052-212-2257
大 阪	〒530-8205 大阪市北区中之島 3-3-23 (中之島ダイビル)	TEL.06-7636-3838	FAX.06-7636-3828
福 岡	〒810-0012 福岡市中央区白金 1-20-3 (紙与薬院ビル)	TEL.092-526-2107	FAX.092-526-2492

お問い合わせは

ネオマフォーム建築・産資総合カタログ 第21版(第1刷'25.04) (<21>'25.04) (㊟00.10) 3000 / 3000 / 92000 qr

